

合言葉：「 思いやりをもって、 未来へチャレンジ 」

令和5年度 久留米市立大城小学校だより



ますかげ

令和5年5月1日 文責：校長 森 勝之

「思いやり」について考えてみる



4月号でもお伝えしましたが、今年度の教育目標のキーワードは「思いやり」です。教育活動の様々な場面で、これは、本校から人を傷つける心無い言動を一掃し、子どもたちが心から安心して楽しく過ごせる学校にしたいと考えています。

ところで、「思いやり」の言葉は、一般的に「弱者を思いやろう、助けてあげよう」というよう意味にとらえられがちです。その場合、常に思いやりを施すのは「強者」であり、施されるのは「弱者」となり「その人のために何かよいことをしてやる」という状況が頭に浮かびます。この場合、「思いやる」と「思いやられる」の両者の間には、強い・弱いといった関係が成立するのです。

ただ、これは「思いやり」の本当の意味を取り違えているのだと思います。ある辞書には「思いやり」とは、「他人の気持ちに配慮し、相手が何を望み、どんな気持ちかを注意深く考え、接すること」と記してあります。ここには、同等の関係が成立します。

現在は、毎朝校門で、大城っ子に挨拶をしています。そもそも、挨拶は、「お互いに仲良くなりましょう」という合図です。例えば、校長の私が、大城っ子と仲良くなろうと「おはようございます」と声をかけても、大城っ子から挨拶を返してもらえないと、大人の私でも何だか元気がなくなります。ここには、強者も弱者もありません。

挨拶を交わすことは、互いに喜びを共有し合う行為であり、それこそが思いやりの姿だと考えます。このように、全職員で思いやりの姿と学校での子どもたちの行動の1つ1つを照らし合わせながら、指導していきたいと思います。

37名の1年生が入学しました

4月11日（火）に入学式を行いました。短時間でしたが、厳粛で清新な気分が味わえた、素晴らしい式となりました。式中、1年生はしっかりと話を聞くことができました。どの大城っ子も担任から名前を呼ばれて元気に返事をすることもできました。また、6年生は最上級生として、式の準備や片付けも加え当日の受付やトイレのお世話に加え、式中の歓迎の言葉も上手で、とても温かい入学式となりました。入学式から約3週間が経ちましたが、現在1年生は、元気に登校しています。



1年生を迎える会と歓迎遠足



4月14日（金）に、1年生を迎える会、赤司のお宮・公園への遠足を行いました。初めて、大城っ子全員がそろって体育館に集まりました。1年生が少しでも早く学校に慣れるように、ゲームやプレゼント渡し等、様々な工夫を凝らしたプログラムが組まれていました。

また、歓迎遠足については、直前の天気予報をもとに、スケジュールの変更をしたにも関わらず、目的地に着いたとたん、曇天との予報だった天気が小雨となり、不測の事態となりました。しかし、どの大城っ子も、度重なる状況の変化に動じず、職員の指示に素直に従い、何とか帰校することができました。この時の大城っ子の姿には、本当に感心させられました。



4 / 21（金）学習参観・学級懇談会・PTA総会

学習参観では、多くの保護者の皆様にご参観いただき、誠にありがとうございました。新しい担任となり、1つ進級したことでお子さんに成長の姿が見られましたでしょうか。今後は、授業参観毎に賢くなっていく大城っ子の姿をお見せできるように、職員一同、努めていきます。

また、学級懇談会では、学級の指導方針はしっかりと伝わったでしょうか。お気づきのことやお伝えしたいことがありましたら、いつでも担任にお伝え下さい。

お子さんの今後の成長を一緒に支えていきましょう。

その後のPTA総会、そして常置委員会に至るまで、多くの保護者の方に参加していただき、感謝しております。今後とも学校と家庭とでしっかりと連携して、知・徳・体が身に付いた大城っ子を育てていきましょう。よろしくお祈りします。

心に染みる一言

世の中は自分の思うとおりになんかならないし、そもそもそういうものだという大前提が必要である。このことは「だから諦めろ」ということを意味するのではない。むしろ「だから頑張れ」ということなのである。元北海道教育大学教授 野口 芳宏

【5月・6月の主な行事予定】

月	日	曜日	主な行事
5	1	月	家庭訪問④塚島・仁王丸
	2	火	家庭訪問⑤南部
	3	水	憲法記念日
	4	木	みどりの日
	5	金	こどもの日
	8	月	家庭訪問⑥筒井
	25	木	人権学習参観・学級懇談会・地域学校協議会①
6	2	金	修学旅行1日目・1年親子給食
	3	土	修学旅行2日目
	18	日	再資源回収①
	20	火	福岡県学力調査5年生